

多焦点眼内レンズ挿入後に当院にて LASIK を受けられた患者様へ

1. 現在、当院は「多焦点眼内レンズ挿入眼における LASIK（レーシック）による屈折補正の評価」という研究を行っています。これは、すでに多焦点眼内レンズを挿入した後、当院で Wavefront-guided LASIK による屈折誤差矯正を予定された患者様に対して、LASIK 手術の内容、手術後の見え方（視機能）が、術前の検査機器（WaveScan、あるいは、iDesign）によって差がないことを確認するために行う研究です。以下の内容をご確認ください。
2. 研究の対象となるのは、平成 25 年以降、すでに白内障手術を受けた際に回折型多焦点眼内レンズを挿入され、その後、当院にて LASIK による屈折誤差矯正を受けた患者様です。
3. 性別、年齢、手術日、手術記録、視力、眼鏡装用の状況、波面収差、コントラスト感度などについて、調査担当医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 本研究のために新たに患者様に対して行われる検査や処置はなく、新たに生じる負担並びに予測されるリスクはありません。また、患者様が金銭などの利益供与を受ける事はありません。
6. 本研究の対象者は、研究の実施について随時これを撤回できます。撤回することによって研究対象者等が不利益な取扱いを受けることはありません。
7. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
8. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも下記研究責任者、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。
9. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。本研究の資金はエイエムオー・ジャパン株式会社より供出されています。

研究責任者 ビッセン弘子（教授）

問い合わせ窓口
東京歯科大学水道橋病院眼科
電話: 03-5275-1856